

計算書類に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、構築物、車両運搬具、器具及び備品、ソフトウェア、その他の固定資産（ホームページ作成費）
 - 平成19年3月31日以前に所得したものについては旧定額法
 - 平成19年4月1日以降に所得したものについては定額法
 - ・リース資産－該当事項はありません。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金－兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済の通知により計上
 - ・賞与引当金－当該会計年度に係る賞与見積額を賞与引当金として計上

3. 重要な会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 法人で採用する退職給付制度

中小企業退職金共済
兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類（会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式）
- (2) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
- (3) 収益事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

- (4) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ア 法人本部拠点区分
 - 「法人本部」（社会福祉事業）
 - イ 特別養護老人ホームめぐみ苑拠点区分
 - 「特別養護老人ホームめぐみ苑」（社会福祉事業）
 - 「ショートステイめぐみ苑」（社会福祉事業）
 - 「めぐみ苑デイサービスセンター」（社会福祉事業）
 - 「めぐみ苑居宅介護支援事業所」（社会福祉事業）
 - 「高砂市地域包括支援協力センターめぐみ苑」（社会福祉事業）
 - ウ ケアハウスめぐみ苑拠点区分
 - 「ケアハウスめぐみ苑」（社会福祉事業）

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	128,330,473			128,330,473
建物	626,750,838		26,954,979	599,795,859
建物附属設備	31,797,449		2,894,276	28,903,173
構築物	10,799,617		1,407,390	9,392,227
合計	797,678,377		31,256,645	766,421,732

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

- (1) サービス活動費用の控除項目として計上する取崩しにより
国庫補助金等特別積立金を 19,545,899円取崩した。

計算書類に対する注記

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当事項はありません。

計	円
担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。	該当事項はありません。
計	円

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産 土地	128,330,473		128,330,473
基本財産 建物	1,142,665,734	542,869,875	599,795,859
基本財産 建物附属設備	138,353,583	109,450,410	28,903,173
基本財産 構築物	38,009,159	28,616,932	9,392,227
有形固定資産 土地	12,440,000		12,440,000
有形固定資産 建物	52,756,946	12,413,195	40,343,751
有形固定資産 構築物	16,243,500	12,230,746	4,012,754
有形固定資産 車両運搬具	19,964,696	19,630,566	334,130
有形固定資産 器具及び備品	64,970,753	48,190,524	16,780,229
無形固定資産 ソフトウェア	3,743,733	2,206,133	1,537,600
無形固定資産 ホームページ作成費	378,000	126,000	252,000
合計	1,617,856,577	775,734,381	842,122,196

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	51,833,606		51,833,606
未収補助金	78,880		78,880
合計	51,912,486		51,912,486

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

該当事項はありません。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
合計			

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

該当事項はありません。

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				

取引条件及び取引条件の決定方針等

13. 重要な偶発債務

該当事項はありません。

計算書類に対する注記

14. 重要な後発事象

該当事項はありません。

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項はありません。

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- ・満期保有目的の債券等一償却原価法（定額法）
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの一決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ・構築物、器具及び備品一定額法
平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法
平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法
 - ・リース資産一該当事項はありません。
- (3) 引当金の計上基準
該当事項はありません。

2. 重要な会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 採用する退職給付制度

該当事項はありません。

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人本部拠点計算書類（会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- (2) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3（㉑））
- ア 法人本部
- (3) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3（㉒））は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。 該当事項はありません。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地				
建物				
建物附属設備				
構築物				
合計				

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当事項はありません。

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。 該当事項はありません。

計	円
担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。	該当事項はありません。
計	円

計算書類に対する注記

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
有形固定資産 土地	12,440,000		12,440,000
有形固定資産 構築物	14,280,000	11,199,999	3,080,001
有形固定資産 器具及び備品	1,934,985	1,843,442	91,543
合計	28,654,985	13,043,441	15,611,544

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。 該当事項はありません。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
合計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。 該当事項はありません。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
合計			

11. 重要な後発事象

該当事項はありません。

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項はありません。

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- ・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ・建物、構築物、車両運搬具、器具及び備品、ソフトウェア
 - 平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法
 - 平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法
 - ・リース資産－該当事項はありません。
- (3) 引当金の計上基準
- ・退職給付引当金－兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済の通知により計上
 - ・賞与引当金－当該会計年度に係る賞与見積額を賞与引当金として計上

2. 重要な会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 採用する退職給付制度

中小企業退職金共済
兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 特別養護老人ホームめぐみ苑拠点計算書類（会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- (2) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3（㊸））
- ア 特別養護老人ホームめぐみ苑
 - イ ショートステイめぐみ苑
 - ウ めぐみ苑デイサービスセンター
 - エ めぐみ苑居宅介護支援事業所
 - オ 高砂市地域包括支援協力センターめぐみ苑
- (3) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3（㊸））は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	95,602,369			95,602,369
建物	467,386,056		20,110,473	447,275,583
建物附属設備	28,454,029		2,596,252	25,857,777
構築物	10,799,617		1,407,390	9,392,227
合計	602,242,071		24,114,115	578,127,956

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

- (1) サービス活動費用の控除項目として計上する取崩しにより、
国庫補助金等特別積立金を 15,279,458円取崩した。

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当事項はありません。
円

計 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当事項はありません。
円

計 円

計算書類に対する注記

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産 土地	95,602,369		95,602,369
基本財産 建物	852,016,782	404,741,199	447,275,583
基本財産 建物附属設備	109,824,057	83,966,280	25,857,777
基本財産 構築物	38,009,159	28,616,932	9,392,227
有形固定資産 建物	52,474,548	12,162,638	40,311,910
有形固定資産 構築物	1,963,500	1,030,747	932,753
有形固定資産 車両運搬具	19,964,696	19,630,566	334,130
有形固定資産 器具及び備品	57,535,281	44,066,964	13,468,317
無形固定資産 ソフトウェア	3,634,869	2,166,217	1,468,652
無形固定資産 ホームページ作成費	378,000	126,000	252,000
合計	1,231,403,261	596,507,543	634,895,718

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	49,413,497		49,413,497
未収補助金	52,200		52,200
合計	49,465,697		49,465,697

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。 該当事項はありません。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
合計			

11. 重要な後発事象

該当事項はありません。

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項はありません。

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- ・満期保有目的の債券等－該当事項はありません。
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの－該当事項はありません。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ・建物、器具及び備品
 - 平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法
 - 平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法
 - ・リース資産－該当事項はありません。
- (3) 引当金の計上基準
- ・退職給付引当金－兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済の通知により計上
 - ・賞与引当金－当該会計年度に係る賞与見積額を賞与引当金として計上

2. 重要な会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 採用する退職給付制度

中小企業退職金共済
兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) ケアハウス拠点計算書類（会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- (2) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3（㉑））
- ア ケアハウスめぐみ苑
- (3) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3（㉒））は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	32,728,104			32,728,104
建物	159,364,782		6,844,506	152,520,276
建物附属設備	3,343,420		298,024	3,045,396
合計	195,436,306		7,142,530	188,293,776

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

- (1) サービス活動費用の控除項目として計上する取崩しにより、
国庫補助金等特別積立金を 4,266,441円取崩した。

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当事項はありません。
円

計

円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当事項はありません。
円

計

円

計算書類に対する注記

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産 土地	32,728,104		32,728,104
基本財産 建物	290,648,952	138,128,676	152,520,276
基本財産 建物附属設備	28,529,526	25,484,130	3,045,396
有形固定資産 建物	282,398	250,557	31,841
有形固定資産 器具及び備品	5,500,487	2,280,118	3,220,369
無形固定資産 ソフトウェア	108,864	39,916	68,948
合計	357,798,331	166,183,397	191,614,934

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	2,420,109		2,420,109
未収補助金	26,680		26,680
合計	2,446,789		2,446,789

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。 該当事項はありません。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
合計			

11. 重要な後発事象

該当事項はありません。

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項はありません。